

い
ず
み
さ
の
教
育



問合先
学校教育課

小中学校における携帯電話の取扱いに関するガイドライン

市教育委員会は、2月の定例教育委員会会議において、「小中学校における携帯電話の取扱いに関するガイドライン」を策定しました。

携帯電話の学校への持ち込みについての論議は、平成30年6月18日に発生した大阪北部地震に端を発します。その発生時刻が子どもの登校中の時間帯であったことから、府内の保護者から大阪府教育庁に対して、「スマホや携帯電話の学校への持ち込みを認めてほしい」との意見が多数寄せられ、昨年3月に大阪府教育庁が「小中学校における携帯電話の取扱いに関するガイドライン」を取りまとめ、府内市町村教育委員会に通知しました。

市では昨年4月以降、各校の実態に応じて、校内での職員会議はもちろんのことPTAでの会議などで、教職員に加えて保護者や地域のみなさんからも意見をいただきながら協議を行ってきました。

そして今般、市教育委員会は、各校の状況を把握し集約した中で、従来からの「校内への携帯電話の持込は原則禁止」という方針は変更せず、防災・防犯の目的で子どもたちが持参する携帯電話の取扱いに関するルールを、市のガイドラインとして策定しました。

【登下校中や学校での携帯電話の取扱いに関するルール】

- 携帯電話を登下校中に持つ目的は、防災・防犯のためです。
 - 登下校中は、携帯電話はかばんの中に入れ、災害時や犯罪に巻き込まれるなどの緊急の場合以外では、手に取って操作することや、携帯電話の使用は禁止します。
 - 校内での携帯電話の使用は禁止します。
 - 携帯電話は、校内では電源を切り、保管についての学校の指示に従います。
 - 子どもがルールに従わずに、携帯電話をかばんから出したり、使ったりした場合は、学校が携帯電話を預かって保護者に直接返却した上で、携帯電話の持込許可の取消も含め、学校と保護者が協力して指導します。
- 携帯電話の安全で適切な使い方について、子どもと家庭でのルールを決めるなど、ご理解とご協力をお願いします。市ガイドラインについて詳しくは、市ホームページをご覧ください。



学校園紹介



豊かな心の育成をめざして
～佐野中学校～

佐野中学校では、子どもたちの豊かな心の育成をめざして、各学年でさまざまな取組を行っています。

【1年生】 障がい理解学習を中心に、手話・点字体験や盲導犬ユーザーの人からのお話などを通して学習を進めています。昨年度は、パラリンピックキャラバンの人をお招きし、車いすバスケットの体験をはじめ、プレイヤーのみなさんの前向きな姿やお話に触れ、子どもたちも多くのことを感じ取っていたようでした。

【2年生】 国際理解学習やセクシュアルマイノリティの学習を中心に「共生」ということをテーマに取り組んでいます。昨年度は、国際理解学習で、班での調べ学習や日本で暮らしている外国の人からお話を聴き、共生社会に向けて自分たちにどのようなことができるかについて考えました。

【3年生】 アイヌ民族の文化について学習しています。文化の体験活動やアイヌ民族の人からの聞き取り学習をしています。昨年度は、命の大切さや立場によるとらえ方の違いなどのお話を通して、相手の立場に立つことの大切さについて感じ取っていたようでした。

学校全体では、被災地を訪問した子どもたちからの報告をもとに、命の大切さや、行事を通して仲間の大切さ、人の思いの大切さについての学習を行っています。



▲アイヌ文化の学習

いのちの授業
～上之郷小学校～

上之郷小学校では、2年生と5年生でゲストティーチャーをお招きして、「いのちの授業」を実施し、命の大切さ・尊さについて学習しています。

【2年生】 上之郷地区にある「きた助産所」の北 美智代先生



▲人形を使ったオムツ交換体験

にお越しただいて、▲北先生の授業命についての出張授業を行いました。

自分たちの命のはじまりから産まれるまで、お母さんのお腹の中でどのように大きくなったのかを丁寧に教えていただきました。

【5年生】 南海「泉佐野」駅そばにある「谷口病院」院長の谷口 武先生にお越しただいて、命の大切さについてお話いただきました。

産婦人科医として日々、命を預かり、出産という命の誕生の瞬間に触れる現場での経験をもとに語られる出産や赤ちゃんの話は、児童たちの心に響きました。「自分の命も身体も大切にすること」・「夢や目標をもつこと」など、愛情に満ちたお言葉をいただきました。この日は、命の尊さについて教えていただく貴重な機会となりました。



▲谷口先生の授業